



平成23年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月13日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 光昭

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年11月期第1四半期の連結業績(平成22年12月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年11月期第1四半期 | 1,188 | △2.7 | 150 | △4.5 | 134 | △2.1 | 74 | △1.0 |
| 22年11月期第1四半期 | 1,221 | △4.7 | 157 | 140.4 | 137 | 229.0 | 75 | 235.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年11月期第1四半期 | 5.10 | — |
| 22年11月期第1四半期 | 5.15 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年11月期第1四半期 | 14,293 | 6,938 | 48.3 | 473.62 |
| 22年11月期 | 14,335 | 6,950 | 48.3 | 474.47 |

(参考) 自己資本 23年11月期第1四半期 6,908百万円 22年11月期 6,920百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年11月期 | — | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |
| 23年11月期 | — | | | | |
| 23年11月期(予想) | | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年11月期の連結業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,376 | △5.0 | 296 | △5.3 | 256 | △4.9 | 142 | △8.0 | 9.73 |
| 通期 | 4,772 | △4.7 | 581 | 0.4 | 510 | 1.7 | 288 | 0.6 | 19.74 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年11月期1Q | 14,600,000株 | 22年11月期 | 14,600,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年11月期1Q | 13,411株 | 22年11月期 | 13,411株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 23年11月期1Q | 14,586,589株 | 22年11月期1Q | 14,587,808株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 【第1四半期連結累計期間】 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (7) 重要な後発事象 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますが、前第1四半期連結会計期間における事業の種類別セグメントと当第1四半期連結会計期間の報告セグメントが同一のため、前年同期比を記載しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益が回復基調となり一部に明るい兆しがみられたものの、雇用・所得環境は改善が遅れ依然として厳しい状況が続きました。

この様な状況の下、当第1四半期連結会計期間における当社グループの業績は、売上高が前年同期比33百万円(2.7%)減の1,188百万円、営業利益は前年同期比7百万円(4.5%)減の150百万円、経常利益は前年同期比2百万円(2.1%)減の134百万円、四半期純利益は前年同期比0百万円(1.0%)減の74百万円となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

物流事業の売上高は保管料、貸庫料の減少により前年同期比24百万円減の1,101百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比7百万円減の216百万円となりました。

不動産事業の売上高は不動産賃貸料、雑収入の減少により前年同期比8百万円減の86百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比3百万円減の42百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における主な減収要因は、主力貸倉庫のテナント入替えによる売上高の減少によるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前期末比41百万円減少し14,293百万円となりました。負債は前期末比29百万円減少し7,355百万円、純資産は前期末比12百万円減少し6,938百万円となり、この結果自己資本比率は48.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は85百万円となり期首残高に比べ36百万円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が139百万円、減価償却費は112百万円となりましたが、法人税等の支払い41百万円、その他負債の減少120百万円等により営業活動によるキャッシュ・フローは126百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得16百万円等により15百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金が増加し103百万円、長期借入金の返済104百万円、配当金の支払73百万円により74百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね予想どおりに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期業績とも予想は変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は10百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は10百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 85,427 | 49,277 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 317,200 | 327,988 |
| 繰延税金資産 | 50,027 | 50,027 |
| その他 | 105,633 | 88,876 |
| 流動資産合計 | 558,287 | 516,169 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,264,491 | 5,347,287 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 229,403 | 232,303 |
| 土地 | 6,572,536 | 6,572,536 |
| 建設仮勘定 | — | 1,645 |
| その他(純額) | 214,370 | 222,854 |
| 有形固定資産合計 | 12,280,802 | 12,376,628 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 995 | 995 |
| その他 | 26,460 | 28,014 |
| 無形固定資産合計 | 27,455 | 29,009 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 720,357 | 694,476 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 11,282 | 11,638 |
| 差入保証金 | 443,004 | 443,004 |
| 会員権 | 20,703 | 20,703 |
| 繰延税金資産 | 165,683 | 176,397 |
| その他 | 70,797 | 72,191 |
| 貸倒引当金 | △4,600 | △4,600 |
| 投資その他の資産合計 | 1,427,229 | 1,413,811 |
| 固定資産合計 | 13,735,487 | 13,819,449 |
| 資産合計 | 14,293,775 | 14,335,619 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 103,006 | 112,508 |
| 短期借入金 | 2,889,387 | 2,803,583 |
| 未払金 | 43,387 | 45,816 |
| 未払費用 | 32,127 | 115,572 |
| 未払法人税等 | 68,937 | 48,680 |
| 未払消費税等 | 26,739 | 16,778 |
| 前受金 | 182,545 | 189,160 |
| 賞与引当金 | 26,028 | — |
| その他 | 17,329 | 10,460 |
| 流動負債合計 | 3,389,487 | 3,342,560 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,784,198 | 2,871,533 |
| 退職給付引当金 | 210,901 | 214,832 |
| 役員退職慰労引当金 | 219,272 | 214,549 |
| 長期預り保証金 | 740,693 | 740,405 |
| その他 | 10,819 | 1,305 |
| 固定負債合計 | 3,965,885 | 4,042,624 |
| 負債合計 | 7,355,373 | 7,385,185 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,527,600 | 2,527,600 |
| 資本剰余金 | 2,046,936 | 2,046,936 |
| 利益剰余金 | 2,322,471 | 2,350,201 |
| 自己株式 | △2,845 | △2,845 |
| 株主資本合計 | 6,894,162 | 6,921,891 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,366 | △972 |
| 評価・換算差額等合計 | 14,366 | △972 |
| 少数株主持分 | 29,873 | 29,514 |
| 純資産合計 | 6,938,401 | 6,950,433 |
| 負債純資産合計 | 14,293,775 | 14,335,619 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 1,221,181 | 1,188,049 |
| 売上原価 | 907,840 | 891,958 |
| 売上総利益 | 313,340 | 296,090 |
| 販売費及び一般管理費 | 156,073 | 145,886 |
| 営業利益 | 157,266 | 150,203 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 286 | 239 |
| 受取配当金 | 2,346 | 2,346 |
| その他 | 476 | 1,014 |
| 営業外収益合計 | 3,109 | 3,600 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22,607 | 18,887 |
| 営業外費用合計 | 22,607 | 18,887 |
| 経常利益 | 137,768 | 134,916 |
| 特別利益 | | |
| 受取和解金 | — | 15,000 |
| 特別利益合計 | — | 15,000 |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除却損 | — | 36 |
| 会員権評価損 | 4,000 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 3,000 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 10,819 |
| 特別損失合計 | 7,000 | 10,856 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 130,768 | 139,060 |
| 法人税等 | 55,424 | 64,325 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 74,735 |
| 少数株主利益 | 219 | 358 |
| 四半期純利益 | 75,123 | 74,376 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 130,768 | 139,060 |
| 減価償却費 | 115,779 | 112,598 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 3,000 | — |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 439 | △3,930 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △42,842 | 4,722 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 28,677 | 26,028 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,632 | △2,585 |
| 支払利息 | 22,607 | 18,887 |
| 有形固定資産除却損 | — | 36 |
| 会員権評価損 | 4,000 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 10,819 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 16,216 | 10,787 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △11,721 | △16,534 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △8,731 | △9,502 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △26,486 | 9,960 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △80,311 | △120,866 |
| 小計 | 148,761 | 179,483 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,632 | 2,585 |
| 利息の支払額 | △27,599 | △14,743 |
| 法人税等の支払額 | △140,165 | △41,092 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △16,370 | 126,233 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,635 | △16,864 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,840 | 1,455 |
| 差入保証金の差入による支出 | △50,155 | — |
| 差入保証金の回収による収入 | 90 | — |
| その他の支出 | △10 | △10 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △53,870 | △15,419 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 331,230 | 103,303 |
| 長期借入金の返済による支出 | △139,960 | △104,835 |
| 配当金の支払額 | △70,762 | △73,133 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 120,508 | △74,665 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 50,266 | 36,149 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 60,954 | 49,277 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 111,221 | 85,427 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日至平成22年2月28日）

(単位：千円)

| 項目 | 物流事業 | 不動産事業 | 合計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 1,125,866 | 95,314 | 1,221,181 | — | 1,221,181 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 売上高計 | 1,125,866 | 95,314 | 1,221,181 | — | 1,221,181 |
| 営業費用 | 902,305 | 49,071 | 951,376 | 112,537 | 1,063,914 |
| 営業利益 | 223,561 | 46,243 | 269,804 | (112,537) | 157,266 |

(注) 1 事業区分は、当社グループにおける事業別収入区分によっております。

2 各事業の主な業務

(1) 物流事業・・・倉庫業務、一般貨物自動車運送業務、運送取次業務

(2) 不動産事業・・・不動産の造成、売買、不動産仲介業務、マンション、オフィスビル等の賃貸業務

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日至平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日至平成22年2月28日）

当社及び連結子会社2社は、全て本邦内にて取引をしているため該当事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、営業所・不動産部及び連結子会社を拠点とし事業活動を行っており、業務の内容、役務の提供方法ならびに類似性に基づき事業を集約し「物流事業」と「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の主要な業務は以下のとおりです。

- (1) 物流事業・・・倉庫業務、一般貨物自動車運送業務、運送取次業務
- (2) 不動産事業・・・不動産の造成、売買、仲介及び管理、コンサルテーション業務、マンション、オフィスビル等の賃貸業務

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年2月28日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------|-----------|--------------|------------------------|
| | 物流事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,101,144 | 86,904 | 1,188,049 | — | 1,188,049 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,101,144 | 86,904 | 1,188,049 | — | 1,188,049 |
| セグメント利益 | 216,313 | 42,827 | 259,141 | △108,937 | 150,203 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△108,937千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社グループは、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、仙台地区及び都内の一部営業所において建物・設備に被害が発生しておりますが、現在詳細な損傷状況について調査中であり、従業員等につきましては、全員の安全を確認しております。

また、保管貨物に荷崩れ等の被害が発生しており営業活動に一部支障をきたしておりますが、お客様と打合せをさせていただきながら早期の復旧に努めております。

今回の地震による損害額及び業績への影響につきましては現在調査中であり、今後重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。